

清水小 校長室だより No.30

2019. 12. 12(木) 文責：筒井

鍛える！豊ノ島杯ちびっ子相撲大会

12月14日(土)に宿毛市相撲場で第9回豊ノ島杯ちびっ子相撲大会が開催されます。

『清水小相撲クラブ』は、希望する子ども全員で保護者の承諾をもらって結成しました。



(清水小相撲クラブ)

今年は、1年～6年までの10人の子どもが参加を希望し、6年生の奈緒さんを主将に毎日昼休みに稽古(けいこ)を続けてきました。

当日は、幡多郡内を中心に他校の子ども達と交流しながら対戦します。団体戦(低学年の部と高学年の部)、個人戦(学年別)に出場する予定です。

昨年は、団体低学年の部で準優勝、個人戦では1年の部で準優勝、3年・5年の部で3位に入賞し、それぞれ賞状とメダルをもらいました。今年の活躍が楽しみです。ガンバレ！

この大会は宿毛市出身の豊ノ島関の後援会が主催し、豊ノ島関も必ず帰ってきます。豊ノ島関の小学校の恩師が本校の助村先生です。一昨年は助村先生の退職記念ということで、豊ノ島関がサプライズを用意し、助村先生対豊ノ島関の対戦がありました。なかなか白熱したいい取り組みでした。大会では、参加者はもちろん応援する人も美味しいちゃんこや炊き込みご飯が食べ放題で、こちらも楽しみの一つです。

相撲は、体の大きい人が有利なスポーツですが、特に小学生の大会は、体の大きい人を小さい人が俊敏な動きで転がしたり、押し出したりして勝つことも多く、観ていてもとっても楽しいです。

鍛える！黒潮町少年駅伝大会

来年1月11日(土)に黒潮町佐賀で開催される少年駅伝大会に参加するために『清水小駅伝チーム』を結成しました。

出場できるのは黒潮町以外の市町村の学校は、男女1チームです。1チームは、低・中・高それぞれ2名ずつ、計6人で編成します。

体力テストのシャトルランや陸上記録会の1000m走(高学年)の記録を参考に、まず選手候補をこちらで選びました。そして、その子ども達を集めて大会や練習について説明し、本人の参加意思があり、保護者が承諾した児童でチームを結成しました。交代選手(大会当日はオープン選手として走る)も含めて、大会に出場できるのは18人です。今年は、希望選手がなんと40名もいました。(昨年は30名、一昨年は16名でした。)

昨年は、練習もばっちりして、盛り上がってい

たのですが、大会当日、かなり風雨が強く結局中止になりました。今年はその分も頑張ってくれると思います。

6年生のすみれさんをキャプテンに1～6年生まで40人が朝と夕に練習をしてきましたが、出場できる人数は決まっています。



(清水小駅伝チーム)

登録選手のメ切が来週なので、それまでに最終選考をして、男子9名、女子9名の選手を決定します。一昨日に候補選手の一次選抜をしましたが、選ばれなかった子どもも含めて今朝も29名が練習に参加していました。しんどいマラソンに黙々と取り組む子ども達の姿に感動します。

冬休み中も練習し、黒潮町での試走を計画しています。昨年に続いて今年も、吉本先生に総監督をお願いし、今津先生を中心に他の先生の協力も得ながら、練習を指導してくれています。

目標は男女とも3位入賞。なかなか高い目標ですが、目標を目指して頑張ることも大切なことだと思います。「清水小駅伝チーム」として選手になれなかった人の分も頑張ってください。

相撲大会の壮行式&激励会は、金曜日の給食放送の前にします。駅伝大会の壮行式&激励会は3学期の始業式で行う予定です。

相撲と駅伝の選手をみんなで応援しましょう。送迎や応援で関係の保護者のみな様には大変お世話になります。何卒宜しくお願い致します。

講演「見えないから見えたもの」

先週金曜日の人権参観日・人権講演会へのご参加有り難うございました。

参観授業の後の竹内昌彦先生の講演は、3年生以上の子供達と40人の保護者・地域の人に参加してくれました。

講演内容は、とても素晴らしく、時に笑い、時に涙しながらのあっという間の70分でした。

温かい両親の元に育ち、たくましく生きてきた竹内さんですが、今よりもっと障がい者への差別や偏見が強い中で歩んできた人生は、私たちの想像を超えるものだったのでしょうか。

そんな竹内さんの「命を大切にせよ」「しっかり勉強して、弱い者を助けることができるやさしい人間になれよ」との言葉は、子ども達にもしっかり届いたと思います。

本音を言えば、講演内容が良かっただけでももう少し保護者の皆さんの参加が多かったらなあと思いました。

講演終了後、6年生の子ども達が「竹内先生の本を学校で買ってください。読みたいです。」との要望が有り、学校でも2冊の本を購入しました。届き次第、図書室に置きます。